

2004.7.16

論点メモ (特に, カーナビゲーションシステムとの連携を意識して)

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 清水 哲夫

1. 道路案内標識の基本方針

- (1) プライベート情報 (カーナビ), パブリック情報 (道路標識) の仕分け
- (2) 道路標識は必要最小限とする努力 (景観への配慮, 観光地では特に)
- (3) 大フォント情報と小フォント情報の併用? (デメリットの検証の必要あり)
- (4) インバウンド観光対応としての多国語案内はカーナビを活用
- (5) 多機能カーナビ (HDD, 相互通信) を活用したサービス
- (6) 利用者の視点 (管理者の管理体系に合わせるべきという発想からの転換)

2. 地名表示について

- (1) 地点表示の目標地, 重要地, 主要地と交通特性, 規制のリンケージ
 - ・例: 国道 254 号の春日通りにある交差点の標識は, 池袋から本郷方向の直進の目標地が「日本橋」となっているが, 本郷三丁目交差点で急に直進方向が「御徒町」となる. この交差点は夜間以外右折できないため, 右折方向の「日本橋」はあまり意味がなく, 国道上の目標地にこだわらず, 春日通りでは目標地を「御徒町」とすべきである.
- (2) 地名表示の解像度と順番
 - ・中心地が複数ある場合は中心地ベースで表示
「西東京」は「保谷, 田無」, 「さいたま」は「浦和, 大宮, あるいは区名?」
 - ・「目標地 主要地」 「主要地 重要地 目標地 (小フォント)」?
遠隔地の目標地, 重要地よりは近隣の主要地の方が利用者にとって重要
- (3) 路線番号情報の活用
 - ・交差点の案内標識では, 各進行方向で接続する主要路線の番号も付記できないか?
- (4) 交差点名の徹底
 - ・交差点を頼りに道案内を行う習慣に配慮すべき
 - ・交差点の案内標識に何とか交差点名を表示できないか?
交差点で分かっても遅い, 「次の交差点表示」も見落とすかもしれない.
- (5) カーナビにおける地名表示
 - ・経路案内時以外にも主要交差点ではカーナビ画面上で地名表示の標識を出して欲しい. この場合, ドライバーの通行経路履歴や経験を蓄積して, それらに即した地名表示を提供して欲しい. VICS 情報と連動すればなおよい.
 - ・登録地付近は標識地名表示の解像度を細かくする工夫?
 - ・カーナビ上の標識画像が実際と同じで全く無駄に感じる.

3. カーナビ等と道路（案内）標識の関係

(1) 距離情報

- ・ 国道以外の主要道路におけるキロポスト設置
- ・ カーナビでのキロポスト情報の充実

(2) 道路線形・構造等

- ・ 急カーブ注意，合流あり，自転車多し，歩道なし，などのこまめな注意喚起情報
- ・ 事故多発地点情報

(3) 交通規制情報

- ・ 交差点の車線運用情報
- ・ 車線変更禁止情報

(4) DSRC 技術の活用

- ・ スポット情報
- ・ 観光情報

(5) 管理者情報の提供

- ・ データベースの仕様化と共有化
- ・ メーカー別の加工 サービス個性